

◇ステップアップ塾

ものづくりの診断スキルの向上

講師：長濱 浩

1. 狙い

平成28年度の「ものづくり診断スキルの向上」ステップアップ塾が6月から始まりました。今回のセミナーの特色は、塾生に、「現場改善の実践」企業の事前学習の目的で、聴講生として2名参加し、総員11名となりました。ものづくりの企業経営の「固有技術」「管理技術」そして「問題解決技術」の3つの技術がありますが、コンサルタントとして身に付けておくべき経営診断の基礎の「管理技術」と「問題解決技術」を診断の活用を目指しました。



トキワ化成(株)経営改善計画の発表会場

2. ものづくりの経営診断に関する「理論と実践をめざしたカリキュラム」 講師 長濱

項目	カリキュラム	期日
診断の現場の基礎	1 生産現場の管理の改善	6月
	2 見える化で現場の改善	
	3 IE手法の狙いと活用	
今日の診断の実務	1 5Sによるコストダウン	7月
	2 工場現場のムダの削減	
	3 製造リードタイムの短縮	8月 10月
	4 変種変量生産のセル生産	
現場改善の実践→トキワ化成(株)	9月	
工場見学→富士重工業群馬製作所	11月	
GDによる事業計画書の事業性評価	11月	
中小企業診断士の営業戦略		

3. トキワ化成(株)の経営改善計画の作成

実際に塗料・接着剤・充填剤等をバッチ生産しているトキワ化成(株)から提示された①3現主義の工場診断 ②モチベーション・マネジメントの高揚 ③SM488のムダとり改善の3項目の診断ニーズに対して工場診断を行い、経営改善計画を作成し好評を得ました。

4. 富士重工業群馬製作所矢島工場の工場見学

生産されている、レガシィ、インプレッサ、フォレストの車種を「プレス、ボディ溶接、トリム工程、検査」までを見学しました。

組み立てラインは1分に1台のペースの混流生産で、取り付けるべき部品の指示書を各車体に添付しさらに、取り付けるべき部品が入った部品箱のランプが点灯、なかなか充実した内容で、勉強になりました。

5. まとめ

今回のセミナーで工場診断の5S・生産管理・品質管理等の基礎は理解されましたが、「問題解決技術」の「問題発見力・分析力・解決力」のフレームワークを活かしてコンサルタントのプロとして「今は何をやるべきかを見極める」の課題設定力に弱さが見られ、期待された成果が得られなかったように感じられます。これらは今後更に深く取り組み、ライバル企業との競争に勝てるように支援・指導ができるコンサルティングが望まれました。

6. 受講生の感想

(1)松村正之氏

昭和55年鉱工業登録という古いキャリアに不安を感じていた時に「ステップアップ研修“ものづくり診断スキル研修”」の募集があり、即応募した。座学は理論と経営者としての実務に詳しい長濱先生にご指導いただき、実習は複層ガラスシール剤やウレタン剤を主要製品とするさいたま市のトキワ化成(株)殿にご協力いただいた。座学で使用したテキストは長濱先生の長年の経験が反映されたオリジナルであり、貴重なバイブルである。実習においては、現場で具体的な指導をいただき、初期の目標を達成できた。

(2)聴講生 トキワ化成(株) 木野広明氏

今回のセミナーでは聴講生として参加させていただきました。講師である長濱先生は、これまで培ってきた知識やノウハウを惜しげもなく披露してくださいました。工場診断では酷暑の中、診断士の方々が熱心に現場の作業を観察されました。また、積極的に従業員に声をかけ現場の声を拾っていました。診断結果発表では診断の難しさ感じました。最後に長濱先生と、聴講生である私を温かく受け入れてくれた診断士の方々にお礼申し上げます。